

あしたがすてきに！



第154期 第2四半期(中間期)

2024年4月1日～2024年9月30日

東邦ガスレポート

〈目次〉

社長メッセージ	01
業績の推移(連結)	02
トピックス	03
株主さまへのご案内	06
株式・配当の状況、株主メモ	裏表紙

東邦瓦斯株式会社

証券コード 9533

社長メッセージ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの2025年3月期第2四半期(中間期)の業績をご報告申し上げます。

2024年9月末の都市ガス・LPG・電気を合計したお客さま数は、3月末と比べ3万2千件増加し、303万2千件となりました。

都市ガスの販売量は、業務用お客さま先設備の稼働減の影響などにより前年同期と比べ1.2%減少しましたが、LPGは1.7%増加、電気は10.1%増加となりました。

売上高は、前年同期と比べ75億円減の2,934億円となり、経常利益は、原材料費と売上高の期ずれ差益が縮小したことなどにより、90億円減の228億円、親会社株主に帰属する純利益は、66億円減の179億円となりました。

株主さまへの還元につきましては、中間配当金を前期末配当金と同じく1株につき40円といたしました。年間配当金は80円(前期は70円)を予定しています。また、自己資本の最適化なども踏まえ、上限を300億円とする自己株式の取得を進めています。



代表取締役社長

増田 信之

さて、今年度が3年目となる現行中期経営計画(2022~2025年度)につきましては、お客さま数300万件の目標を昨年度達成し、その後も着実に増加させることができています。

また、e-メタンの国内初の都市ガス原料への利用や水素製造プラントの運転を開始するなど、将来のカーボンニュートラルに向けた取り組みも順調に進めています。

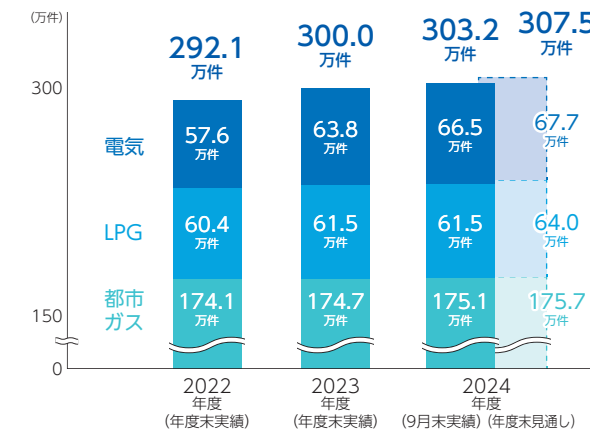
今後も、東邦ガスグループビジョンのもと、地域とともに成長するという基本姿勢を守りながら、「カーボンニュートラルの推進」や「エネルギー事業者としての進化」「多様な価値の創造」などに全社一丸となって挑戦し続け、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆さまには、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移(連結)

1 お客さま数・販売量

(1) お客さま数



※1 「都市ガス」「LPG」「電気」のお客さま数の合計(延べ契約件数)

※2 「都市ガス」「電気」のお客さま数は、小売契約件数

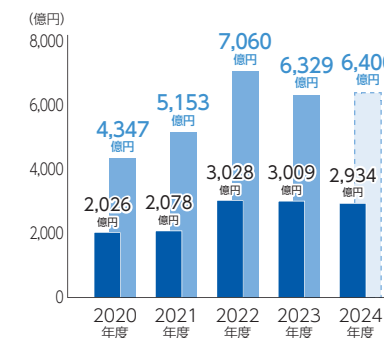
※3 「LPG」のお客さま数には、他LPG事業者からの配送受託分を含む

(2) 販売量

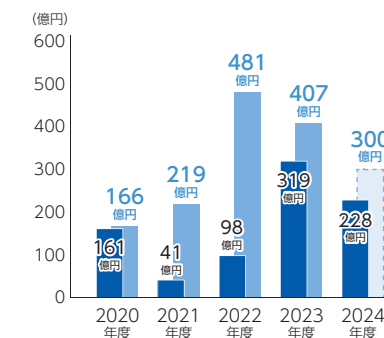
	2022年度		2023年度		2024年度	
	4~9月実績	年間実績	4~9月実績	年間実績	4~9月実績	年間見通し
都市ガス	16.6億m ³	34.5億m ³	16.0億m ³	33.7億m ³	15.8億m ³	33.7億m ³
LPG	21.4万トン	47.5万トン	20.6万トン	46.5万トン	20.9万トン	48.6万トン
電気	11.1億kWh	23.7億kWh	12.4億kWh	25.8億kWh	13.7億kWh	27.0億kWh

2 連結収支

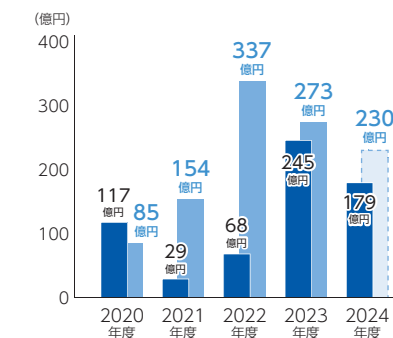
(1) 売上高



(2) 経常利益



(3) 親会社株主に帰属する純利益



より詳しい決算情報はここからご覧ください。

東邦ガス IR

検索



トピックス

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

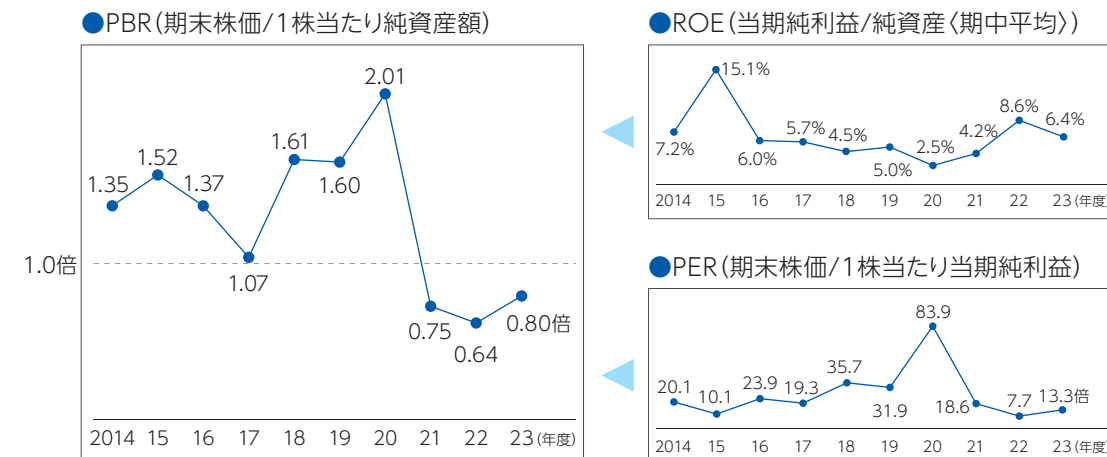
当社は、PBR（株価純資産倍率）の現状と2023年3月に東京証券取引所から出された要請を踏まえ、PBR向上に向けた当社の取り組みを株主や投資家の皆さまにお伝えするため、2024年4月に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を公表しました。

今後、本方針に即した取り組みを着実に実行してまいります。

1. PBRの現状

当社のPBRは、以前は1倍を超えていましたが、2021年度からは1倍を下回り、2023年度は若干持ち直しています。

なお、PBRは、ROE（自己資本利益率）とPER（株価収益率）に分解することができますが、当社の各指標は以下のとおり推移しています。



2. PBRの向上に向けた取り組み

上記の現状および現状に至った背景を踏まえたうえで、「資産効率の向上」「適切な資本構成」「PERの向上」の3つの視点でPBR向上に向けて取り組むべき課題を抽出し、対応方針を整理しています。

視点	取り組むべき課題と対応方針
(1) 資産効率の向上	① 収益性向上の加速 ・都市ガス事業の顧客基盤の維持・拡大と徹底した効率化、LPG事業の安定的な成長 ・電気事業の収益化、東邦ガスくらし・ビジネスサポートの拡充、国内外のグループ会社・新規事業の成長、カーボンニュートラル対応の加速 ② 事業別の収益性管理 ③ 資産の圧縮・有効活用 ・政策保有株式の売却スピードの加速 ・保有不動産の有効活用による収益化、売却による資産圧縮
(2) 適切な資本構成	④ 自己資本の水準の整理 ・ガス事業者の使命である安全・安心、安定供給の確保の必要性を踏まえ、大規模地震などの自然災害や、原料調達への地政学リスク等を考慮し、3,500～4,000億円程度と整理 ⑤ 株主還元 ・従来の株主還元方針に加え、自己資本の最適化に向け、当面の期間、追加の株主還元を実施 ・足元では、2024年度通期の配当金を1株につき80円(対前年度10円増配)で予定、また、上限を300億円とする自己株式の取得を実施
(3) PERの向上 (株主資本コストの低減)	⑥ IR・SR 活動の強化など資本市場との対話の推進 ・情報開示の充実による、当社の成長性についての理解促進、取り巻くリスクについての不安払拭

独占禁止法違反事案の再発防止に向けて

当社は、7月26日に、経済産業大臣からガス事業法に基づく業務改善命令を、電力・ガス取引監視等委員会から業務改善指導等を受領したことを受け、8月23日に業務改善計画を提出しました。

当社は、既に競合会社との接触に係る事前承認・事後報告制度の新設、重層的かつ重点的な教育等の再発防止策を実施しておりますが、本命令を受け、過半数の外部人材で構成される「業務改善計画検証会議」の新設、社内会議における法令遵守モニタリングなどの新たな取り組みを追加しています。

当社は、今後二度と独占禁止法違反を繰り返さないという断固たる決意のもと、再発防止に向けた取り組みを一層強化し、皆さまからの信頼回復に引き続き全力を尽くしてまいります。

株主さまへのご案内

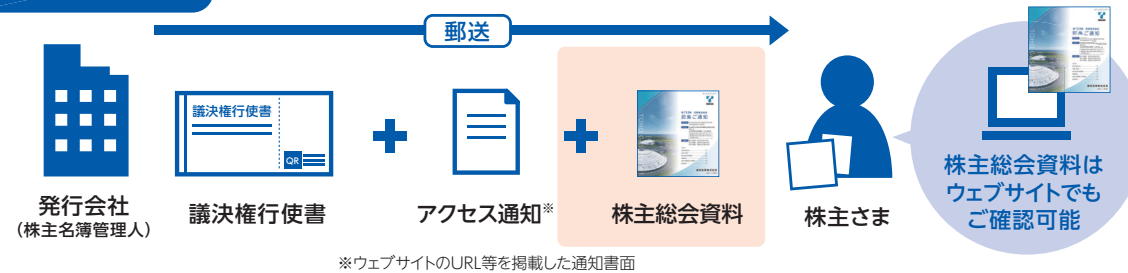
1 次回定時株主総会資料の提供方法について

2022年9月の会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始されています。

当社では、2025年6月開催予定の次回定時株主総会の資料につきましても、当社ウェブサイトでの電子提供に加え、議決権を有する株主さまに、本年6月開催の株主総会と同様の書面※を一律に郵送させていただきます。

※計算書類の株主資本等変動計算書や個別注記表など一部の資料については、書面の郵送はいたしません。

当社の対応



2 次回定時株主総会の会場について

2025年6月に開催予定の第154期定時株主総会の会場につきましては、前回(第153期)と同様「名古屋市公会堂(岡谷鋼機名古屋公会堂)」を予定しています。

名古屋市公会堂のご案内
(岡谷鋼機名古屋公会堂)

名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号

公共交通機関のご案内

- 地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車
4番出口より徒歩2分
- JR中央本線「鶴舞駅」下車
公園口より徒歩2分
- 市バス「鶴舞公園」下車
徒歩3分

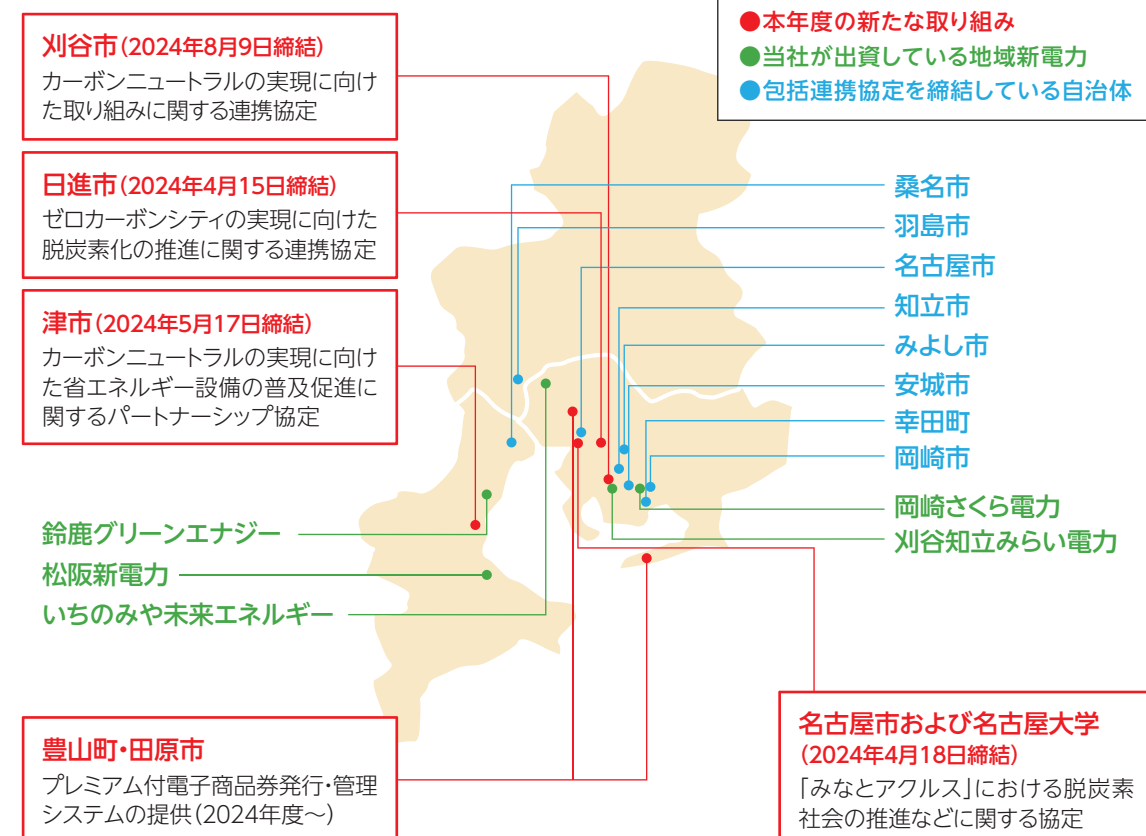


地域共生の取り組みについて

当社は、地域新電力の設立や、カーボンニュートラル推進等に関する協定の締結など、多方面で自治体等との連携を深め、地域共生の取り組みを強化しています。

本年度は、新たに愛知県日進市、刈谷市、三重県津市や、名古屋市・名古屋大学と協定を締結したほか、自治体向けソリューションサービス「東邦ガス つなぐtech(ツナグテ)」を開始し、その第一弾として、「プレミアム付電子商品券発行・管理システム」を、愛知県豊山町、田原市に提供しています。

自治体等との連携の状況



株式の状況 (2024年9月30日現在)

■発行済株式数および株主数

発行可能株式総数…………… 160,000,000株
発行済株式の総数…………… 105,256,285株
(自己株式3,754,328株を含む)
株主数…………… 26,040名
(2024年3月期末比1,938名減少)

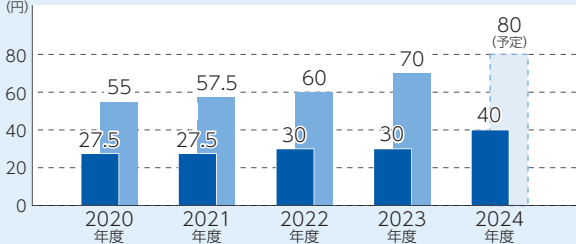
■大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	12,248	12.06
日本生命保険相互会社	5,506	5.42
株式会社三井住友銀行	3,304	3.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,182	3.13
株式会社三菱UFJ銀行	2,872	2.83
桜和投資会	2,155	2.12
第一生命保険株式会社	1,885	1.85
明治安田生命保険相互会社	1,841	1.81
東邦ガス共栄持株会	1,590	1.56
野村 絢	1,576	1.55

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

配当の状況

■1株当たり配当金



「特別口座」に株式をお持ちの株主さまへ

2009年1月の株券電子化移行時点で、証券会社の口座に当社株式をお預けになっていない株主さまについては、当社が三菱UFJ信託銀行に開設した口座(以下、特別口座)で株式をお預かりしています。

特別口座では、株式のお取引ができません。また、少額投資非課税口座(NISA口座)をご利用される場合、特別口座に株式をお持ちのままでは、配当金等について非課税の適用を受けることができません。

この機会にお手続きをお願いします。詳細は、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

株主メモ

事業年度: 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会: 毎年6月
配当金受領株主確定日: 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
上場金融商品取引所: 東京証券取引所 プライム市場
名古屋証券取引所 プレミア市場
公告方法: 電子公告
公告掲載アドレス
https://www.tohogas.co.jp/ir_index/k/
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座管理機関:
三菱UFJ信託銀行株式会社
[同連絡先]
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
☎0120-232-711 (通話料無料)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
[同郵送先]
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

